

# 令和2年度事業計画

(期日：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年3月25日(水)

公益財団法人 日本レスリング協会

# 令和2年度事業計画

## 「方針」

公益財団法人日本レスリング協会の定款に定める目的を達成するため、以下の諸事業を実施する。特に、本年度開催される2020年東京オリンピック競技大会に向けては、国民の皆様の期待に応えるため、金メダルを含む10個のメダル獲得を目指すこととする。このため、協会関係者が一丸となり「選手強化」を主軸とした運営を図っていく。また、本年度は次の目標を掲げ、日本レスリングの伝統を継承していきたい。

## 「目標」

1. 2020年東京オリンピック競技大会レスリング競技での金メダルを含む10個のメダル獲得。
2. 2020年東京オリンピック競技大会レスリング競技の成功に向けては国際連合及びオリパラ組織委員会と情報を共有し密接な連携のもと協力体制の構築。
3. カデット・ジュニア選手（次世代選手）の強化育成と一貫指導体制の確立。
4. レスリング界における暴力・体罰及び各種ハラスメントの根絶とガバナンスの確立並びにコンプライアンス違反の徹底防止。
5. アンチ・ドーピング規定の遵守。
6. レスリング競技における安全管理体制（重大事故防止策）の確立。
7. 選手育成に向けての公認スポーツ指導者（レスリング指導者）の養成と推進。

## 1. 選手の育成・強化を図る事業

(1) 国際大会に選手団を派遣する。

### 【シニア選手団派遣事業】

- ① 2020 東京オリンピック競技大会レスリング競技（千葉／幕張メッセ）で金メダル含む 10 個獲得メダル獲得を目指す。
- ② 2020 年東京オリンピック大会レスリング競技の世界予選（ブルガリア・ソフィア）において、出場権の獲得を目指す。
- ③ U23 世界選手権大会（フィンランド／タンペレ）において、金メダル獲得を目指す（フリー・グレコ・女子）。

### <国際大会>

- ① ヤリギン国際大会（ロシア／フリー・女子）
- ② ジオルコウスキー国際大会（ポーランド／フリー・女子）
- ③ ドイツ国際大会（ドイツ／グレコ）
- ④ ドミトリーコルキン国際大会（ロシア／フリー）
- ⑤ クリッパンレディースオープン大会（スウェーデン／女子）
- ⑥ ダンコロフ国際大会（ブルガリア／フリー）
- ⑦ ビルファーレル国際大会（米国／フリー・グレコ・女子）

### 【ジュニア・カデット選手団派遣事業】

- ① 2020 年ジュニア世界選手権大会（セルビア／ベオグラード）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す（フリー・グレコ・女子）。
- ② 2020 年ジュニアアジア選手権大会（キルギス／チョルポンアタ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す（フリー・グレコ・女子）。
- ③ 2020 年カデット世界選手権大会（ハンガリー／タタバーニャ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す（フリー・グレコ・女子）。
- ④ 2020 年カデットアジア選手権大会（タイ／バンコク）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す（フリー・グレコ・女子）。

- ⑤ U15アジア選手権大会（台湾／台中）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指す（フリー・女子）。

#### 【ベテランズ大会派遣事業】

2020年ベテランズ世界選手権大会（ギリシャ／アテネ）に選手を派遣し、メダルの獲得と上位入賞を目指すとともに国際交流を推進する（フリー・グレコ）。

#### 【その他の格闘競技大会派遣事業】

- ① 2020年世界ジュニアビーチ選手権大会（ルーマニア）に選手を派遣する。
- ② 2020年世界シニアビーチワールドシリーズ（ルーマニア）に選手を派遣する。
- ③ 2020年世界グラップリング選手権大会（セルビア）に選手を派遣する。
- ④ 2020年シニアアジアクラッシュ選手権大会（キルギス）に選手を派遣する。
- ⑤ 2020年世界ベルトレスリング選手権大会（トルコ）に選手を派遣する。
- ⑥ 2020年世界パンクラチオン選手権大会（調整中）に選手を派遣する。
- ⑦ 2020年世界ジュニアクラッシュ選手権大会（インド）に選手を派遣する。
- ⑧ 2020年第6回アジアビーチゲームズ（中国）に選手を派遣する。

## （2）国際事業の実施

- ① 国際大会に参加する。

2020年東京オリンピック競技大会レスリング競技（千葉県・幕張メッセ）。

## （3）選手強化合宿事業を実施し、競技力の向上を図る。

- ① ナショナルチームの国内強化合宿

東京オリンピック大会及び国際大会等の日本代表選手の強化を図るため、国内強化合宿を実施する（男子フリー14回・グレコ12回・女子13回）。

併せて、次世代アスリート育成・強化合宿を実施する。

- ② ナショナルチームの海外強化合宿

ア．グレコ海外強化合宿（未定）

- イ. フリー海外強化合宿（ロシア）
- ウ. 東日本学生連盟海外強化合宿（韓国）
- エ. 西日本学生連盟海外強化合宿（ブルガリア）

(4) 学生連盟及びジュニア・カデット・中学生・少年少女選手の強化合宿事業を実施し、競技力の向上を図る。

- ① 大学生の国際競技力強化のための学連合同強化合宿
- ② 東日本学生連盟研修合宿
- ③ 西日本学生連盟研修合宿
- ④ NTSブロック研修会の開催（中学生も含む）
- ⑤ NTS中央研修会の開催（男女）
- ⑥ 中学生（男女）強化合宿
- ⑦ 少年少女エリート強化合宿
- ⑧ 少年少女スプリングキャンプ

(5) 競技力向上事業のナショナルコーチ等及びに専任コーチングディレクター等を配置し、トップレベルの選手及びターゲット選手・エリートアカデミー選手の強化育成を図る。

- ① ナショナルコーチ
  - ア. 西 口 茂 樹（強化本部長）
  - イ. 赤 石 光 生（強化副本部長）
- ② アシスタントナショナルコーチ
  - ア. 笹 本 睦（グレコローマンスタイルコーチ）
  - イ. 前 田 翔 吾（フリースタイルコーチ）
  - ウ. 藤 川 健 治（総務）
- ③ 専任コーチングディレクター トップ（1名）
  - ア. 江 藤 正 基（JOCエリートアカデミーコーチ）

④ 専任コーチングディレクター ジュニア強化コーチ（3名）

ア. 小 幡 邦 彦 （中央担当コーチ）

イ. 藤 波 俊 一 （高校担当コーチ）

ウ. 吉 村 祥 子 （女子担当コーチ）

⑤ 専任情報・科学スタッフ（1名）

ア. 齋 藤 修 （審判長）

⑥ NTC専任コーチ（1名）

ア. 有 延 大 輝 （NTCレスリング場責任者）

（6）次世代アスリート育成強化事業（2024・2028年を目指す事業）

次世代アスリート育成強化事業を実施し、カデット及びジュニア選手の強化育成を図り、2024年・2028年のオリンピック大会とその後に向けて、永続的に強化育成システム構築事業を目指す。

（7）JOCスポーツ指導者海外研修員の派遣

スポーツ指導者海外研修員として海外に派遣し、海外の選手強化対策等について調査研究し将来の我が国のレスリング界を担う指導者として育成する。

（8）海外研さん活動の実施

JOCより認定された特別強化指定選手及びその指導者を海外に派遣し、国際競技力の向上を図る。

（9）海外情報収集等のための派遣

世界レスリング連合（UWW）の主催するコーチクリニックに強化コーチ及び審判クリニックに国際審判員と関係者を派遣する。

（10）世界レスリング連合（UWW）の主催する大会への帯同審判員の派遣

- ① 東京オリンピック大会を始め国際大会等に帯同審判員を派遣し、審判員の技術向上を図る。

- ② 東京オリンピック競技大会に向けては、世界レスリング連合（UWW）に国内審判員を競技スタッフとして派遣し円滑な競技運営を図る。

(11) JOC能力育成教育

特別強化指定選手であった選手の中から、教育機関に入学等を予定している者を対象として、将来に向けて職業や実生活に必要な知識や能力を育成する。

(12) JOCエリートアカデミー事業

優れた素質を有する選手を発掘し、将来オリンピック競技大会を始め、国際大会等で活躍できる選手を育成する。

令和2年度JOCエリートアカデミー生

☆ 男子5名・女子3名 計8名

(13) JOC国際人養成アカデミー事業

国際スポーツ組織との関係強化及び人材育成の一環として組織、人などにおける「国際人」を養成し将来協会を代表した、国際的に活躍できる人材を育成する。

(14) JOCナショナルコーチアカデミー事業

オリンピックで活躍できるアスリートを育成・指導するワールドクラスのコーチ及びスタッフの養成を目的とした事業に全日本強化コーチを参加させる。

(15) ハイパフォーマンス・サポート事業

オリンピック競技大会を目指すトップレベル選手に対し、多方面から専門的かつ高度な支援を受けて実施する。このため、スポーツ庁から委託された JISS と連携を密にして支援体制の確立を図る。

☆支援内容

- ①. フィットネストレーニング ②. 栄養 ③. 心理 ④. ケア  
⑤. 映像の撮影及び分析 ⑥. 生理・生化学 ⑦. バイオメカニクス

## 2. レスリングの普及・発展のための事業を実施する。

### (1) 協会主催大会事業

- |                                |               |
|--------------------------------|---------------|
| ① 天皇杯全日本レスリング選手権大会             | 駒沢体育館         |
| ② 明治杯全日本選抜レスリング選手権大会           | 駒沢体育館         |
| ③ 第75回国民体育大会レスリング競技会(少年・成年・女子) | 日置市吹上浜公園体育館   |
| ④ JOC杯ジュニア全日本レスリング選手権大会        | 横浜市文化体育館      |
| ⑤ 内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会       | 門真市スポーツセンター   |
| ⑥ JOC杯ジュニアクイーンズカップ大会           | 駒沢体育館         |
| ⑦ 風間杯全国高等学校選抜レスリング大会           | 新潟市体育館        |
| ⑧ 全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会       | 和歌山県ビックホエール   |
| ⑨ 沼尻杯全国中学生レスリング選手権大会           | アダストリアみとアリーナ  |
| ⑩ 全国少年少女レスリング選手権大会             | 北海道立総合体育センター  |
| ⑪ ビーチレスリング沖縄大会                 | 沖縄県豊崎美らSANビーチ |

### (2) 各傘下連盟主催大会事業

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| ① 東日本学生リーグ戦               | 駒沢体育館      |
| ② 西日本学生春季リーグ戦             | 大阪府金岡公園体育館 |
| ③ 東日本春季新人戦 東日本春季選手権大会     | 駒沢体育館      |
| ④ 東日本学生女子レスリング選手権大会       | 駒沢室内競技場    |
| ⑤ 第68回全日本社会人レスリング選手権大会    | 富士見市総合体育館  |
| ⑥ 西日本学生新人戦                | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑦ 高校総体インターハイ              | 館林市城沼体育館   |
| ⑧ 全日本学生レスリング選手権大会         | 駒沢体育館      |
| ⑨ 第15回全日本女子オープン選手権大会      | 焼津市民体育館    |
| ⑩ 全日本学生グレコローマン選手権大会       | 駒沢体育館      |
| ⑪ 西日本学生レスリング選手権大会         | 大阪府金岡公園体育館 |
| ⑫ 第37回全国社会人オープンレスリング選手権大会 | 和光市総合体育館   |
| ⑬ 全国中学生選抜レスリング選手権大会       | 駒沢室内球技場    |
| ⑭ 西日本学生秋季リーグ戦             | 大阪府金岡公園体育館 |



- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| ⑮ 東日本秋季新人戦 東日本秋季選手権大会    | 駒沢室内競技場       |
| ⑯ 全日本マスターズレスリング選手権大会     | オリンピック青少年センター |
| ⑰ 第25回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 | 板橋区小豆沢体育館     |
| ⑱ U13ジャパンオープントーナメント大会    | 板橋区小豆沢体育館     |

### (3) 国際交流の実施 (ジュニア)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ① 日米高校交流       | (米国遠征・国内受入) |
| ② 日韓ジュニアスポーツ交流 | (韓国遠征・国内受入) |
| ③ 日韓中学生交流      | (韓国遠征)      |

### (4) 指導者講習会 (公認スポーツ指導者資格)

公認レスリング指導者及び公認レスリングコーチの講習会を実施し、地域スポーツクラブ等において、初心者や子供達を対象にレスリング競技の基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。併せて、国民体育大会における監督へ公認指導員の資格を習得させる。

### (5) ホームページによる主要大会の動画及びデータベース構築の充実

日本のトップレベルの試合(国内外)の映像を全国のレスリング選手・指導者・ファン関係者への提供により、レスリングの強化と普及を推進する。また、本協会の記録を、報道を含めてだれもが簡単に検索できるよう、データベース構築の充実を図る。

### (6) 2020年東京オリンピック大会レスリング競技会支援事業

東京オリンピック大会に向けては、組織委員会にレスリング競技における「スポーツマネージャー」等を協会から派遣し、同委員会及び世界連合(UWW)と緊密に連携を取り、円滑な競技運営等の業務活動を積極的に行う。

- |              |         |
|--------------|---------|
| ① スポーツマネージャー | 藤 森 安 一 |
| ② サービスマネージャー | 橋 本 篤 史 |

③	テクニカルオペレーションマネージャー	長 島 偉 之
④	I F サービスグループリーダー	武 田 明 子
⑤	アドミニストレーショングループリーダー	田 中 未 来

### 3. その他定款の目的・事業を達成するために次の事業を実施する。

- (1) レスリング指導者における体罰・暴力行為等及び各種ハラスメントの防止対策に向けての講習会を開催し、徹底した指導を図る。
- (2) レスリング競技における安全管理体制を強化し、重大事故防止に努める。
- (3) アンチ・ドーピング教育啓発活動の推進を図る。
- (4) ナショナルトレーニングシステム（NTS）事業の実施に向けては、各ブロック研修及び中央研修会において、一貫指導体制の充実を図る。
- (5) 国際ルールの改正に伴い、審判講習会を積極的に実施し審判技術の一層の向上を図る。
- (6) 選手強化のため、味の素ナショナルトレーニングセンター及び十日町市桜花レスリング道場の強化拠点施設を有効活用する。
- (7) 日本オリンピック委員会（JOC）のスポーツ環境専門部会に参加し、環境保全活動を積極的に推進して行く。
- (8) レスリング競技の普及・発展のため、広報活動を積極的に実施する。
- (9) ガバナンスコードを遵守し、適切な組織運営を積極的に実施する。